



共通科目 + ディシプリン内専門科目 + 学際的・分野横断的科目

現代社会や地域社会が抱える課題を深く分析し、現代のアートやデザイン、アーカイブを切り口としてそれらの問題の解決に資する人材

【身につける能力】

- ◆ 客観的な現状分析をふまえつつも、自分なりの物の見方や考え方から課題発見・解決を進めていく能力（アート思考）
- ◆ 社会の中でアートが果たしている役割を捉え、社会問題の解決のためにアートの持つ可能性を発展させていく能力

【活躍する分野】

- ◆ 地域おこしを目的とした芸術祭の企画運営を担う自治体職員
- ◆ 地域密着型イラストレーター
- ◆ 文化芸術資源を生かした事業を展開する企業職員

● 課題解決特論・演習

- ・ 8単位／必修
- ・ 研究・執筆指導
- ・ 準備報告会

● 修士論文

- ・ 審査

アートや作品制作に関する高度な技術を獲得させることはもとより、その創作活動が文化理解や人間心理に対して果たす役割まで含めて指導・助言できる。審査においても、創作活動のみならず、地域課題との結びつき、創作プロセスの言語化、展示企画の構想なども含めて審査を行う。

【修士論文題目例】 UBEビエンナーレに関する今後の展開及び課題について

【研究内容】 UBEビエンナーレにおける美術史的な経緯や現代アートの動向を調査研究するとともに今後必要とされる彫刻のマーケット制作や類似する作品を制作する。Arts- Based Researchとして制作の過程や背景について著述することと制作を通してテーマについて深く洞察し、修士論文としての文章と作品制作・展示を行う。（場合により修士論文のみか、作品制作を伴うか選択する。）

● 専門科目

18単位  
選択必修

現代アートおよび表象文化に関する専門的知識、技術などを幅広い視点で修得できる

共創科学専攻

人間文化創造プログラム

- ◆ 実践的現代アート特論（表象文化・デザイン）
- ◆ 彫刻文化特論（表象文化・デザイン）
- ◆ 表象文化特論（表象文化・デザイン）
- ◆ 英語圏文化研究（多文化共生）

人間社会創造プログラム

- ◆ 地域コミュニティ政策特論（人間社会・環境）
- ◆ データ情報表現法特論（データ理解・活用）
- ◆ 画像データ活用特論（データ理解・活用）

他研究科等

マスターplusプログラム（文化分野）

- ◆ 芸術論（美学）
- ◆ 芸術論（美術史）

国内外の文化の在り方や相違に関する学際的な知識の修得。それぞれの文化が人の心や感性に与える影響について体系的に把握する能力の修得。

現代のアートやデザイン、アーカイブ(文化財の保存修復を含む)に関する高度な技能の修得。芸術に関する現代的課題とその解決策を探求する能力の修得

● 専攻共通科目

1単位／必修

- 人間文化・社会創造概説
- 現代社会における表象文化の役割や位置づけを考える前提となる視点・知識を修得

● 研究科共通科目

2単位／必修  
1単位／選択必修

- |   |  |
|---|--|
| <p>1年前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究者行動規範特論</li> <li>● 知的財産特論</li> </ul> <p>研究者としての倫理に加え、著作権や意匠権など芸術に携わる者として必要な知財に関わる知識を修得</p> | <p>1年後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● データサイエンス特論</li> <li>● プレゼンテーション特論</li> <li>● キャリア教育</li> </ul> <p>人間に関する諸科学やデータサイエンスについて学ぶことや、自身のキャリアデザインなど将来の展望を構想する</p> |
|---|--|

◆ 志望理由・経緯

学部でも美術（現代アート）に関して学んできたストレートマスター。自分自身の創作に関する技能を発展させたいという動機とともに、現代アートを通じた地域創成などの芸術の社会的応用に関心があり、自らもそれに関する職業に就きたいと考え本コースを志望した。

日本の伝統的な農業文化や技術を踏まえつつ、スマート技術などを駆使した新しい時代の農業を考え、発展させようとする人材

【身につける能力】

- ◆ 農業課題の解決策を伝統産業の在り方、社会的背景、農業に対するイメージや心理、スマート技術開発など複眼的な視点でとらえることができる能力
- ◆ 便利さや使う人のことを考えた使いやすさを最優先にシステム全体を設計する発想力
- ◆ マーケティングや販路開拓など、農業を経営的側面から分析する能力

【活躍する分野】

- ◆ 農業の担い手不足対策に取り組むJA部署
- ◆ 次世代スマート農機開発や農業のDXに取り組む企業部門
- ◆ DX時代の農業政策を立案する自治体職員
- ◆ 農業法人の経営や六次産業化を支援するコンサルティング職

共通科目 + ディシプリン内専門科目 + 学際的・分野横断的科目

● 課題解決特論・演習

- ・ 8単位 / 必修
- ・ 研究・執筆指導
- ・ 準備報告会

● 修士論文

- ・ 審査

創成科学研究科、経済学研究科などと連携することで、農業に関する研究について、産業・技術・文化としての複数の側面から捉えて指導・助言できる。またそれらの側面を統合したSTEAM的観点から審査することができる。

【修士論文題目例】スマートデバイスを用いた新規就農者支援と都市型農業における農産物の多収量・高品質化の研究

【研究内容】就農者平均年齢が最も高い山口県において、新規就農者を増加させる新たな方法をデザイン思考に基づき開発する。農業課題の解決に、日本独自の農業文化、現代社会における農業の位置づけ、若者のトレンドなどを考慮し、またスマート農機の導入など技術的な側面からもアプローチする。特に、農業の高品質化と効率化を付加価値とした新たな手法を研究する。

● 専門科目

14単位  
選択必修

農業に関する専門的知識、技術などを幅広い視点で修得できる

人間文化創造プログラム

- ◆ 生態人類学特論 (多文化共生)
- ◆ インタラクションデザイン特論 (表象文化・デザイン)

農業文化や多文化共生の課題を把握し、農業の持続可能性を複眼的視点でとらえる能力を修得

共創科学専攻

人間社会創造プログラム

- ◆ データ解析情報学特論 (データ理解・活用)
- ◆ データベース特論 (データ理解・活用)
- ◆ 科学技術社会論特論 (人間社会・環境)
- ◆ 地域コミュニティ政策特論 (人間社会・環境)

質的・量的データ分析力を駆使し、農業においてグローバルとローカルな視点で課題を分析する能力を修得

他専攻・他研究科等

マスターplusプログラム (情報分野)

- ◆ 農学系特論 (創成科学研究科)
- ◆ 経済統計研究 (経済学・経営学専攻)
- ◆ 経営数理計画研究 (経済学・経営学専攻)

農業技術や法人経営などに関わる複数分野の専門的知識を修得

● 専攻共通科目

1単位 / 必修

- 人間文化・社会創造概説

現代社会における表象文化の役割や位置づけを考える前提となる視点・知識を修得

● 研究科共通科目

2単位 / 必修  
1単位 / 選択必修

- 1年前期 ● 研究者行動規範特論 ● 知的財産特論
- 研究者としての倫理に加え、著作権や意匠権など芸術に携わる者として必要な知財に関わる知識を修得

- 1年後期 ● データサイエンス特論 ● プレゼンテーション特論 ● キャリア教育
- 人間に関する諸科学やデータサイエンスについて学ぶことや、自身のキャリアデザインなど将来の展望を構想する

◆ 志望理由・経緯

農業の抱える課題に農学がカバーする領域だけでなく、様々な視点や手法を駆使して研究したい。卒論で、就農者減少に関する課題に取り組んだが、農業法人や行政目線でのアプローチが主体となってしまったため、一就職先としてや若者目線でとらえた農業研究として発展させたい。